

第 11 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会（会議録）

会議の名称	第 11 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 環境整備・P T A・コミスク部会
開催日時	令和 6 年 6 月 20 日（月） 午後 7 時 00 分から
開催場所	串原コミュニティセンター サンホール
議題	課題 No.9「校舎の増築、改修に関すること」
報告	課題 No.10「通学路の安全対策に関すること」 課題 No.11「スクールバスの運行に関すること」
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森 慶隆 安藤 常雄 三宅 勝彦 後藤 加代子 後藤 純一 阿部 秀樹 川上 容子 中村 光代 永田 満依子(ZOOM 参加) 長谷川 一行 園原 正明 安藤 真由美 片桐 慎一 細江 幸次 後藤 理恵 伊藤 亜弓 中田 憲 塚田 茜 大石 佐緒理 佐藤 美保 教育委員会 丸山 頼彦 市川 太一 小栗 研

長谷川 棕

小野 千恵実

会議の内容 会議録のとおり

傍聴者の数 0名

事務局 それでは皆様、7時の時間になりました。まだお見えでない方もおられるかと思いますが、皆さん集まってくるということを期待しております。

それでは、第11回目の環境整備・PTA・コミスク部会を始めさせていただきますと思います。よろしくお願いします。

今日は事前にお配りさせていただきました図面を見ながら進めたいと思いますので、少しご用意していただけたらありがたいかなと思います。レジュメにもありますように、今日協議する事項が先にお配りしたこの図面のことになります。あと3枚目、報告で2つほど報告をさせていただきたいと思っております。このような流れで進めさせていただきたいと思います。どうかよろしくお願いします。

では、初めにレジュメに沿いまして、当部会の会長様からご挨拶をよろしくお願いいたします。

部会長 改めまして、こんばんは。先ほど案内ありましたように、11回目、本年度に入りましてから2回目ということですが、前年度は9回、この部会を行っております。引き続いて、役員の方はある程度頭の中が整理できているかと思いますが、新たな委員さんになられた方と共通認識を図りたいというふうなことを思っております。特に引き続いて、前年度からの役員の方は私たちが出した意見を集約して、どのようにこれが反映をされているかということを、いま一度確認をやっていただければありがたいなというふうに思っております。

統合が8年4月なんですけど、先のように日にちというのは本当にあっという間にきます。私もいつも私事で言うんですけども、仕事をやめてから1日が長いなと思う時がある反面、1日短いなということを特に思います。特に学ぶわけではないですけど、光陰矢の如しという言葉があるように、本当に前倒し前倒しで事柄をやっていかないと、後になってバタバタするというのは、ちょっといかにもよくないだろうと思います。今日も流れは特に意見出しということではなくて、確認作業ということになるろうかと思いますが、今までのことを反映してまた新しいアイデアがありましたら、最後は意見発表というよりも意見交換のような形で感想を出していただければなというふうに思っていますので、ひとつよろしくお願いします。

以上です。

事務局 ありがとうございます。

それでは、議事のほうに入らせていただきます。ここからは会長様の議事進行でよろしくをお願いします。

部会長 それでは、2番目の協議事項に入りたいと思います。資料をお手元に出していただきましたでしょうか。議題の9番目の校舎の増築及び改修に関する事で、先ほど言いましたように、我々のアイデアが実際にはどんなふうに反映がされているのかということを確認していきたいと思います。

事務局のほうから説明をお願いします。

事務局 では、皆様にお配りさせていただいている資料に、A4で1枚の両面のものがあります。これの表面のほうを少し改めてお話しさせていただきます。

これは昨年度になります。この資料は12月6日に理事会に提出してご承認を得たものになります。ここに、1番として検討の経過、(1)から(4)で4回ほど、皆様の現場見学から始まって、いろんなアイデア出し、そしてとりまとめという形で進めていく、こういう流れを記載させていただいております。そして、2番のほうがまとめという形で、増築、改修に向けて基本的な考え方、そして教室がこれだけの生徒が来るので、これだけのままでは不足するよと。必要な教室数が11、そして特別支援教室の3、これだけは必要ですよということが確認できたかと思います。

そして、その裏面が実際の校舎をつくるにあたって、皆様から出されたアイデアをまとめてあるものです。2番の校舎づくりにおける大切な考え方は、こういうことにしようということで、増築校舎の考え方、グラウンド、校舎周りの扱い方とかそういったものです。

(3)、(4)で具体的にアイデアを出して、今、それをもとに設計をしてきたという段階に入ってきました。

今日は、初めに私がここまで説明させていただきましたが、この後はそれぞれグループごとに私どもが入りまして、先にお渡しさせていただいたこの図面を、より詳しく職員が説明をさせていただいて、もう一度ご確認をさせていただければと思っております。

この後はグループごとで、まずは確認の場を設けたいと思うので、よろしくお願いします。

では、私らもそれぞれのグループに分かれて入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

(グループに分かれて話し合い)

部会長 それでは、始まってそろそろ1時間近くなりました。じゃあ、よろしいですか。きりがつきましたら。

それでは、皆さんそれぞれでご確認いただけたかなと思いますので、グループごとでどんなお話があったかなというのを、最後に発表していただきたいなと思っております。中学校グループから、どなたかお話いただければありがたいと思います。中学校、小学校、こども園の順で進めていきたいと思います。

中学校グループ代表

特に自分で言うと、校長という立場もありますので、それと昨年度、この会に参加しておりませんでしたので、質問をという形で、子どもの安全をやっぱ一番確保したという視点で、例えば、この間、全体場で発言がありましたけど、渡り廊下は囲えないんだけど、じゃあどのあたりまでならできるんですかというような確認だとか、それこそ保健室の場所、位置についてはどこなのかということであったりだとか、それこそ周回道路をつくってもらえるんだけど、引き渡しは全体どのような形でやれそうなのかというのを図面に基づいて説明を頂いたりだとか。メディアスペースを造っていただいているんだけど、今各中学校5校にはそれぞれの遠隔交流室という形で、大画面で教室よりも大勢の子どもたちが一つの場所に入って一緒に回れるというような場所があるんだけど、このメディアスペースにも同じようなものは、今やっているところは最低限確保されるのかということもやっていただいているようなことであったり、本当に安全を中心に手洗いの場所、トイレのこと、更衣室だったりだとか、そんなようなことをみんなで確認することができました。

以上です。

部会長 ありがとうございました。

では、小学校グループ、お願いします。

小学校グループ代表

説明を受けた内容は皆さん同じことなので、そこは省かせていただきますが、うちのグループで確認として出てきたところが、実際に引き渡しをするということですが、その際には現在の体育館を活用するのかということをお伺いした点ですとか、それから例えば急変された子どもの救急搬送の動線の確認とか、更衣室の活用の仕方の確認だとか、教室の方、部屋の前に多目的スペースがあるということなので、広く学年ごとに廊下を使った活動ができるということをお伺いすることができました。あとレッドゾーン、校舎の裏のところ、斜面についての確認をさせていただきました。最後、全体的な感想としましては、本当に私たちがここで出した意見をしっかり検討していただいて、形としてしていただいたということに関して、理解させていただいたというふうに思います。以上です。

部会長 では、こども園グループからお願いします。

こども園グループ代表

こども園としても、やっぱり最初に引き渡しの場所ってというのは、今後どうしたらいいのか、車の方向とかも含めてどういうふうに動いていくのかっていうのは、すごいきちんと決める。屋根も含めてきちんとつけてほしいなという。場所とかは、今後、実際使う先生方で決めていってもらえばいいのかなというところと、あとはちょっと個人的な意見もあるんですけど、支援級が旧校舎のほうにあるんですけど、特別なこと、理科室であつたり美術室、音楽室とかっていう教室が近いので、ちょっと騒がしくなりがちなときに、ここで本当に子どもが集中できるのか、あと本当に3クラスで足りるのか。やっぱり今、増えているので。追いやられた感が人によっては、新しい校舎使えない分、保護者にとっては排除されているような感覚にもなりやすいかなという気もするので、いろんな意見を保護者に聞いてみてもらったほうがいいのかないところを、ちょっとこの配置を見て感じたところです。あとはすごい、去年から参加していて、いろいろと工夫して反映されているなというふうに思いました。あともう一つは、旧校舎では難しいとは言われたんですけど、やっぱりエレベーターを旧校舎に設置できんかなというのは、本当に心から思います。以上です。

事務局 それぞれ皆さん確認いただいて、改めてこうしたほうがいいのかないようなご意見も今出たかと思えます。できる限りのことはやっていきたいと思っております。皆様の考えたものは、今日お示しした図面で、ご意見の中でいろいろやってくれたというご意見もございましたので、できる範囲のことはこれからもまだやりたいなと思えます。

今後のことなんですけども、今日はここでご確認させていただいたもの、実際の設計図面を今造っている段階です。そして完成すれば、今度は実際の建築の工事に入っていくという流れになってきます。メディアスペース等の検討は、実は細かなところが今度は教育部会のほうで検討されていて、そこは2日前に教育部会が行われました。その中で、教育部会が出された意見が大体反映されて、これで進めていきましょうよというご返事を頂いたと聞いております。今日もご確認をいただいたという形になりましたので、この後、幹事会、そして理事会、最終的には総会で設計を確認し、建築のほうに入っていくということをまた確認していくという流れに進んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、私の説明は以上になります。

部会長 ここで今、昨年来、進めてきたことが反映をされているということで、先ほどちょっとお話があったんですけども、今月の27日の日に岩村のほうで幹事会がありますので、この内容を説明と言ったらいのかな、報告というのかな、させていただきますので、お願いをします。

事務局

では、レジュメのほうにあります3番目の報告の（１）、議題10となっています、通学路の安全対策に関することについて説明をお願いします。

では、今日お配りした図面に、赤い点線の入った図面が手元にあるかと思えます。これの説明をさせていただきたいと思えます。

通学路の安全というところも、ここの部会で協議するところになっております。この学校へ通学するための利便性とか、通学時の生徒の安全を確保するということと、新しく道路をつくるということを決めてきました。それがこの図面になります。

先ほどの環境部会でも、増築校舎の検討とかスクールバスの検討の中に、学校周辺の道路の環境についていろいろなご提案をいただいております。例えば、この中学校への進入路、あそこ狭いよね、すれ違いしにくいですよ。あとは、歩道が途中で切り替わっているの、横断しなければいけない。それがちょっと危険です。あとは、こども園の車の送迎があると。そうした場合、スクールバスが来たときにちょっと混雑、そういう心配もある。先ほどもちょっと話が出ましたが、引き渡しをすることがある。今までの山岡中学校の生徒から、今度は生徒が多くなるとお迎えの車も多くなる。こういうような課題があるというところは、幾つか挙げていただいております。

そういうことの中で、教育委員会のほうとしては、実際道路の関係は市の中の建設課というところで、技術職員の集団がおりますので、建設課といろいろ協議を重ねてきたところです。その中で、いろんな課題を少しでも解消したいという中で、安全な道路環境となるように、新しく道を1本入れるということを言っています。

この図面の赤線のとおり、山岡こども園を取り囲むようにして造ります。今までは、このBGって書いてあるほうから山岡こども園に行く、そして山岡中学校へ行く、そしてその道をまだ戻ってくるという、行き止まりの道しかなかったところを抜け道ができるという形で周回できるような道路を新しく造りたいということになりました。

これは2車線の道路で歩道付きというものを造って、そうすることによってスクールバスでここに学校に来たときでも、いろんな方面から車が出入りができるので、より今までの行き止まりよりかは円滑な通行が可能となるように検討をしてきたところです。

今後、この道路については市の建設課が所管して行ってきますので、具体的にこれから道路の設計を行って、これ民間の個人の土地もありますので、必要な土地は買わせていただいて、その後、具体的にどんな工事に入ってくる、こんな流れとなってきます。実際にこれどんな時期に完成するだろうかというところです。ただ、これからまだ具体的な設計だとか、必要な土地は買わせていた

だくということになります。この学校の開校が令和8年4月です。なんとかこれに完全に間に合えばという思いの中で、今、設計として実際の道路工事のスケジュールを組んでいくというところですので、ちょっと今の時点で完成がどの時期になるのかというところは明確にはなかなか言えないんですけども、早急に造るという思いで今始まったところです。

今日初めてこの図面を見て、ご確認されたいこともあろうかと思しますので、まずちょっと私の今の説明は以上になりますけれども、何かご確認したことがあれば、この場でちょっとお話いただければと思います。よろしくお願いいたします。

部会長 今、説明がありましたけれど、まず質問のほうからいきましょうか。ちょっといまいちここがというところになり、そういうことがあれば質問のほう、お願いしたいですが。

委 員 赤線のところは、B Gの横のところは今既存の道もありますよね。ここは広げるということなんですね。ここは広げて、この前の通りに行って、裏通るところは何もないんですか。

事務局 今は、ここのところに田んぼがあるので、そこにちょっとした道はあるそうですけれども、車は普通には通ってない状況です。

委 員 あと、今まででもご検討の中で見たと思うんですけど、地元の山岡の子は徒歩だったり自転車で通うわけじゃないですか。その子たちはどこまで自転車、この学校の中で自転車に乗っていくんですよね。

事務局 自転車置き場が実は今回の増築校舎を造る場所によって、削られるんですね。自転車置き場をどこにつくるのかっていうのを今、並行して検討を進めていますが、学校周辺ですのでここは通ることに、もちろんなんです。

委 員 そうすると今、自転車は歩道を通るのか車道を通るのか、ちょっと細かい話ですけども、そうすると一応、規則どおり考えると車道ですね。そうするとその分の安全を確保する道を、例えば歩道がこうあって、車道の2メートルくらいとかは逆にとる必要があるんですね、きっとね。ちょっと分からないけども、気になると思うんですけど、だけど地元からはそういう要望が出ると思うんですけど、地元の子が安全に通えるようにですとか。

委 員 今の山岡中学校は、左側の点線のところ、今、右側の点線のところがあるんですけども、ここからは手で押している。なので、自転車置き場まで歩いて登ってくるような。歩道をですね。

委 員 現状はどういうふうに自転車を分からないんですけども、どうせ造ってもらえるなら。

事務局 多分、今おっしゃったように、基本的に多分、自転車通学のところは圧倒的に山岡の子だけ。たぶん今後も。そうなるときには、今までのルールをそのまま

使う方向が、一番いいのかなというふうに思っています。ただし、先ほど言ったように、結構、急勾配なので、おそらくそこを自転車で来いというふうには多分ならないと思うんです。実際の話が。そんなときに今の運用なのかなという気がします。ただ、いろいろ配慮した、せっかくつくるんやったら、いろんなことを配慮した道を考える。

委 員 自転車通学のときは、上りは多分手で押してくると思うので、問題は帰り。下りになってきたところで、途中途中でスピードを出さないような障害物を造るほうが安全。

委 員 基本的には、坂の下まで乗ってる。

事務局 それはやっぱり、このルールが更新されればなという。

委 員 ただ、それでは、ちゃんとした安全対策とは言えないので、物理的な何かをやっついて、最低限の未然防止ということを考えていったほうがいいかなと思いますが。

事務局 車が通行しやすい道イコール自転車も通行しやすい道になってくるので、このカーブとかももう少し緩やかになってくるので、ゆるやかになれば余計スピードが出るかな。でも、そうなるもので、危険だよね、だから今、押してくださいねという、そういうルールなんです。ただ、坂道はどうしても坂道のままだので、高低差なので、その辺ですよ。ちょっとその辺の運用は、もうちょっとこれから考えていかなければなと思います。いろいろ懸念がありますね。

委 員 こども園との交差点の上の辺、そこについてはどんな感じ。

事務局 そうですね。あそこから上の道が、どうしても勾配は勾配のままです。どっちみち高低差は変えられないので。図面上で山岡こども園と山岡中学校を上がっている道の交差する部分は、おそらく今の交差点のままじゃなくて、改良しない限りくつつかない。そうするとここの登り口のところをどういうふうにしてこれから設計するかによって、上に上がっていく道をより使いやすいようにできるかというのが、これから設計に入ってきますので、ここについては引き続き、僕らもこの中でいろいろ、すれ違い、見通しが悪いとか聞いてたので、なんとか検討をするように、今、これから進めていくというふうに考えているので、より良くしたいと考えています。

委 員 一応、この新しいルートができるということで、設計は今後書いてもらって、例えば今言う出会い頭みたいになるところの改良だとか、車にしても自転車にしても通行型の運用規制みたいなものを設けるとか、というのは当然議論していかなきゃいけないでしょうし、この場でできるものと、新しい学校になってから当然、気が付かれてされることもあると思いますけど、これは次回はまだこれこのままだと思いますけど、その後ある程度、もう少しこれをシンプル化したものが年内くらいには出るということでもいいでしょうか。それとも若干、

もうちょっとずれ込むとか。

事務局 道路設計をするためには予算を組まなきゃいけない。その予算を組む時期がどこになるのか、そして出来上がりがいつになるのかなので、ちょっと今、時期はさっというとな怒られる、実際僕らではなく道路改良の方でやるんですけども、年末なのかどっかの、もちろんこの年度内にはお話できるとは思っていますので、ちょっと今の時点ですみません。僕もちょっと、勝手なことを言ってもあかんのでごめんなさい。

部会長 でも、より良くなるという、こういう新しい案が提示されているので、次回またそれを紙面化したものをまた年度内なり、遅くとも年度末までには出していたくということで、またその場で検討をお願いをしていきたいと思いますが、お願いしたいです。あと、現段階で、こうしたほうがいいよという意見があれば、また次回でも結構ですので、出していただいてもいいですね。

委 員 質問いいですか。道路の図面がある程度できてからしか、バスロータリーという形を検討していくことができないということですか。

委 員 それって前から出とったやら。

事務局 以前から話をしていましたが、この山あたり、山のあたりのところを削ってやったらどうかということをお示ししましたよね。それは前、ご意見でもいろいろ聞いたので、より学校に近い方がいいと。

委 員 それからもう一つなんですけど、新しい校舎を建てるんで、今の子どもたちの自転車置き場を多分移動させるんですけど、その移動させる場所が、今後そこになっていくのか、またとりあえず仮設で動かすのか。

事務局 そうですね。今の思いとしては仮設で設置します。また、本設するものは本設するもので、より便利のいいところに設置します。この仮設というのは本体工事のために、回避するための仮設になりますので、実際には本校舎ができあがったときには、この場所では若干不便な場所ということになるかと思っていますので、本設と仮設は分けて考えようというふうに思っています。

委 員 大体どのくらいの距離ですか。測っていますよね。

事務局 グーグル上で測っただけですけど、ぐるっと回るだけで大体600から700ぐらいかな。

委 員 これ造ってくれるのは、双方向から入れるし出られるしいいんだけど、一番肝心要な、中学まで上がっていくところを前から言っている。ここが全然かまわんわけじゃん。ここ何とかしてほしいなあ。

事務局 これは今、話ありましたけど、この部分について、ここが一番特に問題になってくるんですけど、ここは道路改良に併せて、交差部分是一部改良ということになる。

委 員 中学校の入り口の辺までついて距離的には長くないので、予算的にはそんなに

長いことないじゃん。だとしたら、そこまで入り口までやった方が後々いいような気がするんだけどな。どう。

事務局 我々としてもこれで終わりですよというつもりもなかったです。まずこの新設道路ができるっていう話は、今まで僕らも発想なかったところが、道路の専門部署のほうがかうやってできるっていうふうに言ってくれたので、こういうふうになったっていうのが、まず今日、ご説明したかったお話です。安全対策については、まだまだ継続して考えなければと思っています。もうここだけの話じゃなくて、ここの交差点をどうするかっていう話も前にありましたし、最終的にこの学校上がってくる道もそうですよね。今の中でもうちょっと広くできないかっていう話も前から聞いていましたので、具体的に今日ここでどうするどうしないっていうところまではお答えできないんですけども、意見は今お二方から聞きましたけど、まずはそこを念頭にして、ちょっと継続的に検討させてください。

委 員 あと一ついいですか。今おばあちゃんのお店の辺から J A の、この辺から一本入ってくと思うんですけど。中学校。その道が一本っていうよりは、県道へへ抜けていくあの道が広くはできないんです。

委 員 昔の道か。

委 員 あっちが抜けていければ、二方向考えていけるかな。

事務局 使ってない道ですね。

委 員 細い道ですね。

事務局 止めるには止めるための何か理由が多分何かあったんだと思いますけど。

事務局 今、ここでは答えようがありませんが。

委 員 わかりました、わかりました。おもしろいんじゃないかなと思って

部会長 今、質問併せて最後のほうは意見のほうも出てきましたので、またそれは今後、意見等を検討していくということで。よろしいでしょうか。

では、（２）の課題としては 11 番目というところの、スクールバスの運行についてお願いします。

事務局 そうしましたら、（２）のスクールバスの運行の関係であります。乗り降りする場所、あとどういうふうなバスルートがあるのかということを、保護者へ説明をしていくと、そして皆さんに知っていただきたいという確認の作業をどうしようかというところで、今、最終チェックを準備しています。今後どういうふうに行っていくのかなというところを、今、予定を伝えさせていただきます。

令和 8 年度に中学 1、2、3 年生になる、今の小 5、小 6、そして中 1 の子どもたちとその保護者を対象に、確認作業をまずはやっていくということになります。バス停がこう、しっかりと分かるような図面、以前バスルートも検討してきた図面、あれだとバス停の具体的な位置が分かりにくかったので、もう少し分か

りやすくした図面を用意する、あとバス停の位置が分かるような写真を用意する、そしてバスの運行計画の方針大体決めたので、それが分かる表を付ける。そしてバスルートはどこで、これくらいがベターだろうというのをまた決めていただいたので、その決めてきた解説、こういうようなものを用意して、これを保護者の該当する方々にも、皆さんに直接お配りします。これはどうしてかという、もう一人一人ご理解してもらわないといけないので、説明会に来てくださいね、来ていない人には分かりませんよではダメなので、それぞれじゃあお一人ずつお配りするようにします。それで見ていただいて、この図面から見ると私の家がここで、このバス停で乗ります、そして何人くらい集まってくる、そしてバスはこういうふうに走ってくるという形で、じゃあ私はこのバス停から乗りますよというのが分かるような、確認書みたいなものを集めてくと。それで最終的に、じゃあここでは何人乗ってこういうルートで行くということができると。そんな流れをつくりたいなと思っています。

ですので、まずはそういう資料をお配りするということと、それで図面で理解して分かればもうそれでオーケーですけれども、なかなかそれでは分かりきれない人もいるということも想定できますので、それぞれの5地区の会場で直接確認したいよという人向けに会場を用意して、全体説明じゃなくて、私の家ここなんだけど、どういうふうなんですかというのを確認できる、そういう機会も造ろうかなと思っています。

そんなような進め方でやりたいという形で、今準備を始めたところです。ですので、今6月の下旬になりますけれども、夏、遅くても秋前、秋の始め頃までにかけて皆さんに確認作業をしていくと。そんな流れを今準備を始めたところですので、今日まず、報告をさせていただきました。具体的に書類等全部そろった時には、また何らかの方法で保護者にこういうふうにはできますよというのをお伝えしていくというふうに、それもちよつと準備をしたいなと思っています。そうすることによって、お一人お一人が最終確認したいというところの流れができるのかなというふうに思っていますので、まずこういう形でやっていくということをご紹介させていただきました。よろしくお願いします。

部会長 今の保護者の件に関しては、この場で議論うんぬんじゃなくて、やっぱり対生徒さん、保護者さん、お一人お一人が一世帯一世帯が対象になってくるので、そういうところへやり取りをやってもらうということで、事務局のほうは非常に大変な作業になるかと思いますが、こんなことが始まるということも、もしか保護者の方からの問合せ等があったら、こういう方向で進んでいきますというようなことだけ、皆さんの頭の中に入れていただいて、質問があったら、そんなような話をしていただくということでお願いをしていきたいと思っています。

委 員 質問いいですか。今の小5、小6、中1からまずお配りというふうに聞いたん

ですけど、私たちは該当するので来るんですけど、来ない家、それより下、こども園だったら多分来ないんですけど、そういう人にもし聞かれたら、何と答えるんですか。

部会長 それは私が勝手に思っているんですけど、それこそ入学該当年度のときに当然そうした掌握をされるわけですね、毎年毎年。

事務局 毎年子どもたちが変わっていきます。住んでいる家も変わってきます。ですので今後は毎年確認していくことが絶対発生してきますので、次の年度に入ってくるときは、また入ってくる前に説明して、確認すると。

委 員 それが来るよみたいなこと。

委 員 連絡が来るよというふうに言ってもらえれば、いいんじゃないかな。

事務局 恐らく今までも、よそのところもそうです。次の子はどこから乗るのか、毎回説明していますので。そういうやり方です。これから次の年度もまた、次の年度も。

部会長 じゃあよろしいでしょうか。お願いします。

じゃあ次回のこの部会の開催日等について、お願いします。

事務局 次回ですね、前回は決められなかったので、今回もう、日にちを決めさせていただきました。

今回は7月24日の水曜日になりますけれども、午後7時からになります。会場は持ち回りしています。前回、総会のために岩村で先にやりましたので、今度の会場は山岡です。会場の予定もこれからとりますので、その予定で進めたいと思いますので、もしとれないなら、また場所が変わるかもしれませんが、日にちはもうこの日にちでということで、よろしくをお願いします。

今回の内容は、ここで皆さんに協議をしてもらう中のPTAと学校運営協議会、ここの議題がまだあります。ここのことについて、委員会で議論したいと思います。

では、次回の予定は以上です。よろしくをお願いします。

部会長 確認です。今回は来月7月24日の水曜日、19時から。場所は山岡ということです。議題等今、言ったように、PTAなりこの学校運営協議会の組織をどうするかというようなことで、議題を上げさせていただきます。

大体月に1回はもうやっていくような形になりますか。

事務局 そうですね、はい。

部会長 そうということで、月1回はというところをお願いをしたいと思いますので、よろしくをお願いします。その他、特に各委員さんから。

委 員 いつぐらいから工事者が入ってきて、いつぐらいからグラウンドが使えなくなるのか。そういうのも全員、保護者の方、私たちにも伝えてもらわないと、中学校だけの問題ではないので、早めに伝えてもらえたらなと思います。

- 事務局 分かりました。これは予算が絡むことですので議会の承認がないと正式には決まらないので、あまり軽いことは言えないわけですが、事務局のイメージとして、校舎の建設工事が始まるのは年が明けてから現場に入ってくるのではないかというイメージを持っております。
- ただ、それ以外にもいろんな工事があります。先ほど言いました急傾斜の話であるとか、道路改良の話がいろいろ出てまいりますので、前後して複数の契約が定まってくると思いますが、大きく工事が動き始めるのは来年入ってからではないかと考えておるところでございます。
- ただ、実際に議会のほうで承認いただいて、具体的に予算が定まるようであればございましたら、事細かにこれについては学校を通じて皆さんにお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- 事務局 とにかくあの辺の工事ということになれば、説明する機会がありますので、今言えるのは、こんなイメージかなということです。
- 委員 土木工事は地域説明会あるんだけど、この学校に関しては教育委員会が責任をもってPTAのほうへ連絡を出して。
- 事務局 そうですね、もちろん。
- 委員 縦割りやもんね、小さな町やけど、縦割りやもんね。建設は建設で進んでいっちゃうんで、その辺よろしく。
- 部会長 横の連絡もとってもらって、PTAに説明を出してもらおうと。
- 委員 情報だけ出してもらったらいいいです。具体的に工事がいつから始まる、どういう工事が始まるとか。
- 部会長 じゃあ今日の議題等については終わりましたので、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。